

## 第2章 平成12年度研究用システム



## 第2章 平成12年度研究用システム

この章では、平成12年度研究用システム（<http://www.nse-net.co.jp/~uitec/>）の概要及び12年度の課題である教材開発の部分について特に説明する。なお、このサイトはレンタルサーバを使用している。

### 第1節 ウェブサイトの概要

トップページを以下に示す。

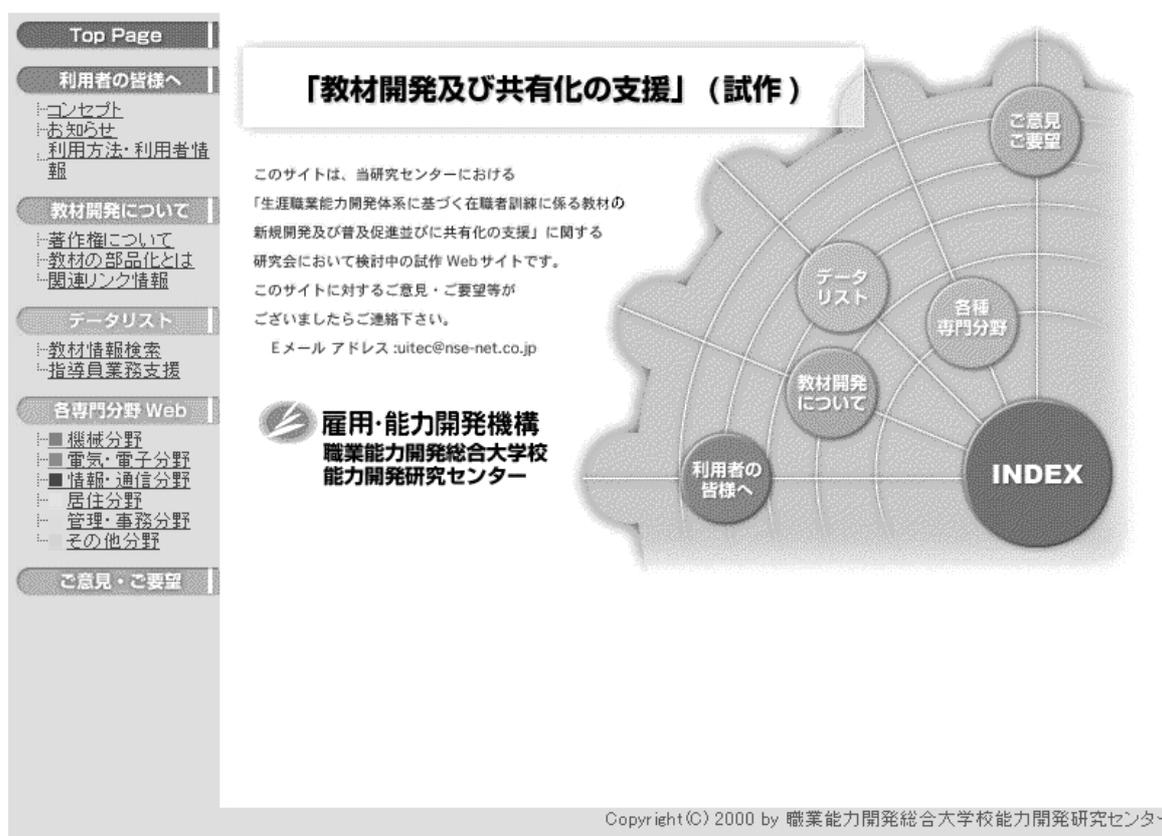


図2-1 トップページ

#### 「利用者の皆様へ」

コンセプト

・・・研究の主旨等の掲載

お知らせ

・・・利用者への連絡

利用方法・利用者登録

・・・利用方法について。利用者登録はこのシステムでは機能設定がされていないので使用できない。

#### 「教材開発について」

著作権について

・・・著作権についての基本的知識のダウンロード画面

- 教材の部品化  
関連リンク情報  
「データリスト」  
教材情報検索
- ・ ・ ・ 生涯職業能力開発体系に基づく教材の部品化について
- ・ ・ ・ 著作権、規格についてのリンク情報
- ・ ・ ・ 教材の検索を行う。ただしこのシステムでは機能設定がされていないので使用できない。
- 指導員業務支援
- ・ ・ ・ 業務で使用できるエクセル等のファイルを登録してある。
- 「各専門分野 Web」  
各系のトップページへ進む
- ・ ・ ・ 次ページに説明

各専門分野のトップページを機械系を例に取り説明する。基本的な構成は各系同じである。画面左の各専門技術分野は系ごとに異なる。

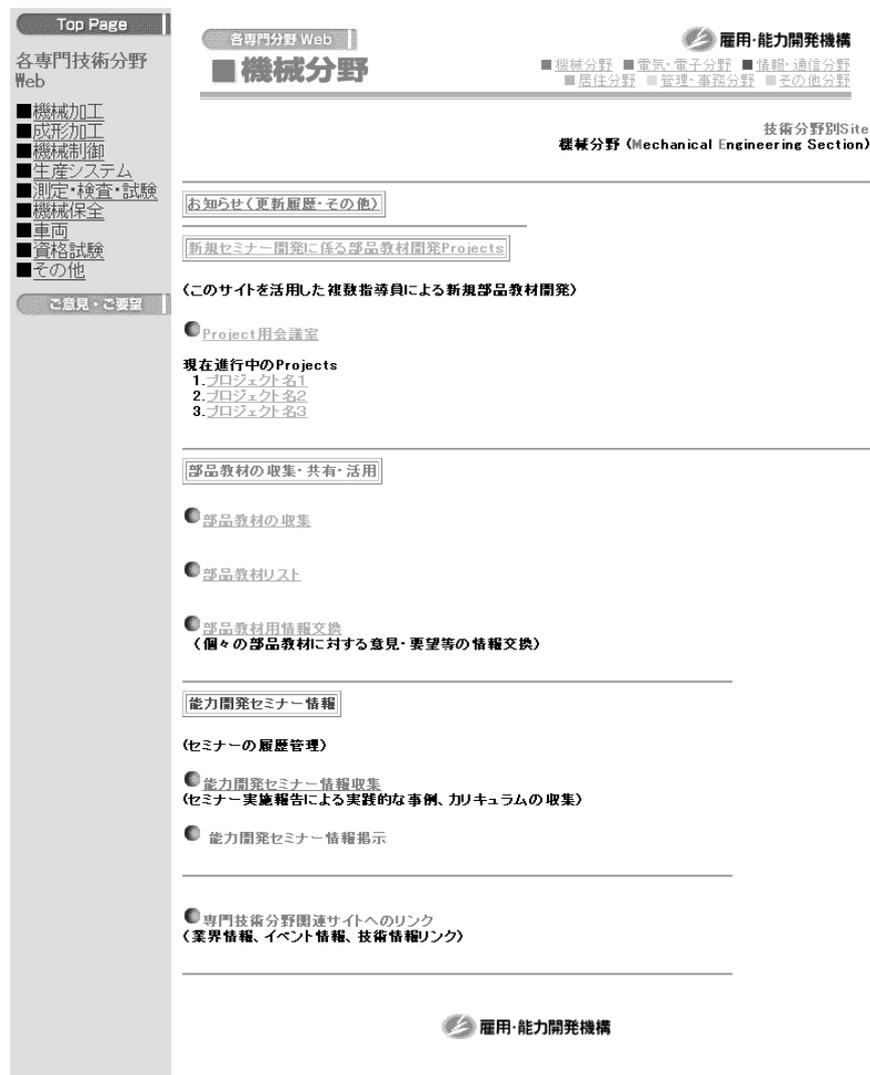


図2-2 機械系トップページ

- |                                |  |
|--------------------------------|--|
| お知らせ                           | ・・・系ごとの更新履歴その他について                             |
| 新規セミナー開発に係る<br>部品教材開発 Projects | ・・・生涯職業能力開発体系に基づく教材の作成手順についてのページ               |
| Projects 会議室                   | ・・・教材開発についての意見交換の場。図2-3に管理・事務系の会議室タイトル部を示す。    |
| 現在進行中の Projects                | ・・・教材の開発ページ、詳細は第3章。このシステムでは、3テーマ分のページが用意されている。 |

### 部品教材の収集・共有・活用について

- 部品教材の収集 . . . 部品教材の登録画面、このシステムでは機能設定がされていないので使用できない。
- 部品教材リスト . . . 部品化された教材を閲覧できる。各系1～2事例ほどが掲載されている。
- 部品教材用情報交換 . . .

### 能力開発セミナー情報について

- 能力開発セミナー情報収集 . . . セミナー実施報告による実践的な事例、カリキュラムの収集を行います。しかしこのシステムでは機能設定がされていないので使用できない。
- 能力開発セミナー情報揭示 . . . 上記項目の情報を掲示する部分、しかしこのシステムでは機能設定がされていないので使用できない。

### 専門技術分野関連

- サイトへのリンク . . . 関連分野へのリンクを掲載する。しかしこのシステムでは機能設定がされていないので使用できない。

### 左の欄、各専門技術分野について

それぞれの分野（カリキュラムモデルの中分類）については、「技術分野別FAQ（よくある質問）」と「技術内容に関する専門技術的な情報交換・質問」があり、セミナー等での各種情報を掲載するページがある。

Top Page

各専門技術分野Web

- 経営
- 総務・労務
- 経理
- 営業・マーケティング
- 物流・生産管理
- 健康・福祉
- 安全衛生
- 資格試験
- その他

ご意見・ご要望

## projects用会議室 Ver. 1.27.2

この掲示板は、各専門技術分野における技術的な質問のやりとりを中心に、教材開発に関する情報交換、意見交換をする目的で設置しました。  
この掲示板の運営・管理は職業能力開発総合大学校能力開発研究センターが行うものとします。掲示板の趣旨に添わないと管理者が判断した場合は、投稿者に同意を求めることなく削除する場合があります。  
この掲示板への投稿内容及び掲示板の内容により利用者が被った被害については一切の責任を負いかねます。

24時間以内の発言は赤で表示されます。10ツリーずつ表示

---

[新規投稿] [ツリー表示] [番号順表示] [タイトル&コメント]  
[前の10ツリー] [次の10ツリー]  
2 / 3

---

◇ [Phase6](#) - 投稿者: **小森清久** (9/12-18:15) No. 20

◇ [phase5](#) - 投稿者: **小森清久** (9/12-17:07) No. 19  
     ↳ [Re: phase5](#) - 投稿者: **下町 弘和** (9/14-10:53) No. 22

◇ [ファイル入手しました。](#) - 投稿者: **長谷昌彦** (9/5-08:54) No. 17  
     ↳ [Re: ファイル入手しました。](#) - 投稿者: **下町 弘和** (9/6-09:17) No. 18

◇ [キャッシュフロー関係のビデオ](#) - 投稿者: **下町 弘和** (8/31-14:43) No. 15  
     ↳ [Re: キャッシュフロー関係のビデオ](#) - 投稿者: **細川喜弘** (9/4-17:56) No. 16

◇ [テーマについて](#) - 投稿者: **下町 弘和** (8/14-16:58) No. 9  
     ↳ [Re: テーマについて](#) - 投稿者: **小森清久** (8/17-17:16) No. 10  
     ↳ [Re: テーマについて](#) - 投稿者: **下町 弘和** (8/18-12:16) No. 14

◇ [ご苦勞様です。](#) - 投稿者: **長谷昌彦** (7/28-12:08) No. 8  
     ↳ [Re: ご苦勞様です。](#) - 投稿者: **小森清久** (8/17-17:28) No. 11

図2-3 プロジェクト会議室

なお、詳細については平成12年発行 能力開発研究センター編、資料シリーズ No. 13 「教材開発及び共有化」システム（試作版）操作手順書を参照されたい。

## 第2節 教材開発の作成ページ

ウェブサイト上での教材開発の基本書式を説明する。各系トップページの現在進行中のProjectsから進むと（図2-2参照）ページは以下のような構成になっている。

---

### Phase1

モデル開発する能開セミナーのテーマ設定

1. ニーズの把握（開発の背景・経緯）

- ・ 求人、就業動向
- ・ 成長産業
- ・ 最新技術動向
- ・ 能力開発セミナー受講率
- ・ 団体企業のニーズ

2. 開発の目的（セミナー開発の目的の明確化）

3. 問題点とその具体的解決方法について

---

フェーズ1では、モデル開発する能開セミナーのテーマ設定、開発の目的について各プロジェクトメンバーからの各施設での状況・調査内容・企業からの要望等を出し、いろいろな意見を検討する場になっている。以下のフェーズでも同様であるが、プロジェクト会議室で検討し、そのまとめをこのページに掲載するかリンクさせる形式をとっている。

---

### Phase2

セミナー開発スタッフの選任と役割分担

1. スタッフ・メンバーの専任と分担

- ・ プロジェクト・リーダーが中心となり、必要とする専門性からスタッフを選任・依頼する。

2. 問題点とその具体的解決方法について

---

能開セミナーのテーマ設定を基に、スタッフの専門性、施設での資料の収集を考慮し、役割分担を決定する。

---

### Phase3

カリキュラム内容の検討

1. カリキュラム作成

- ・生涯体系に基づいた全体カリキュラム構成の作成

2.問題点とその具体的解決方法について

-----

カリキュラム案の作成、検討を行い実施に向けた具体的内容の検討を行う。  
生涯体系に基づいた教材の構成を考える。仕事→作業→教材の対応を検討する。

-----

Phase4

教材の作成分担、日程調整

1.教材の作成分担

- ・カリキュラム内容から教材を作成する分野を分担する。

2.作成日程の調整

- ・おおまかな、作成日程を調整する。

3.問題点とその具体的解決方法について

-----

教材作成の分担を決定する。教材作成の予定を計画する。

-----

Phase5

教材情報の収集

1.各担当分野での情報収集

- ・関係教材情報の収集

各分野で関係する教材情報を掲示板等で収集するとともに、Webサイトに掲載する。

2.問題点とその具体的解決方法について

-----

各分野で関係する教材情報を掲示板等で収集する。参考図書、資料、関連Webサイト等をまとめる。Webサイト掲載に当たっては、リンクの許可の確認も必要になる。

-----

Phase6

教材の作成・進捗状況報告・確認

教材の収集・確認・精査

1.各担当分野ページ

- ・教材の担当部分の作成
- ・進捗状況の把握
- ・途中教材の確認

- ・各スタッフ担当の作成済み教材を掲載し、各スタッフが閲覧・確認・精査

2.問題点とその具体的解決方法について

-----  
今回試行に当たっては委員内で、教材の収集・確認・精査を実施した。

-----  
Phase7

教材・セミナー教材としてのまとめ

1.登録セミナー教材名

2.登録教材名

- ・プロジェクト用掲示板で完成の確認をとり、不足部分を作成する。
- ・教材は、このサイト上で共有・活用するために蓄積する。
- ・セミナー教材は、セミナー実施後、精査を受け、一般公開用教材DBに登録する。

3.問題点とその具体的解決方法について

-----  
最終的な教材を、ここに掲載する。または、ここからリンクできるようにする。